

## あいち森と緑づくり委員会 事業地視察 都市緑化推進事業地

## 1. あいち森と緑づくり都市緑化推進事業について

あいち森と緑づくり都市緑化推進事業は、緑に対する理解を深めるとともに、都市の緑の保全創出や活用を図る事業であり、4つの事業に区分されている。今回は「緑の街並み推進事業」により助成した事業地を視察する。

## 【4つの事業区分】

- (1) 「身近な緑づくり事業」 都市に残された貴重な民有樹林地の買い取りや小規模な緑地の創出を行う
- (2) 「緑の街並み推進事業」 民有地の敷地または建物の屋上、壁面等の緑化を行う
- (3) 「美しい並木道再生事業」 都市の顔となる地区において美しい並木道の再生を行う
- (4) 「県民参加緑づくり事業」 県民参加による緑の体験学習や緑づくり活動、都市緑化の普及啓発を行う

## 2. 緑の街並み推進事業について

「緑の街並み推進事業」とは、市街化区域等の①民有地の建物や敷地の緑化を進めるために、市町村が定めた緑化施設評価に基づく優良な緑化事業、並びに②民有の既存樹林地を広く開放するために園路整備等を行う事業である。

	交付金事業者	交付対象経費	対象規模	交付率
①	市町村	屋上緑化、壁面緑化、駐車場緑化、空地緑化の費用のうち、植栽、植栽基盤、灌水施設、園路整備に係る費用、及び生垣設置に係る費用	面積：50㎡以上 生垣設置延長：15m以上	1/2
②		園路整備、柵、ベンチ、自然解説板、案内板に係る費用		

## 3. 事業視察地の概要について

- (1) 申請者：アイコクアルファ株式会社
- (2) 実施場所：稲沢市祖父江町本甲大溝 47-2
- (3) 事業期間：令和2年11月1日～令和3年3月7日
- (4) 敷地面積：6,936.6㎡
- (5) 緑化面積：1,089.3㎡（空地緑化）  
うち中高木 903.9㎡
- 植樹内容：中高木 81本、中木 182本、低木 1,400本
- (6) 事業費：11,311,575円  
うち交付金交付額 4,976,000円



着手前



完了後（令和3年）



# 樋田成二メモリアルホール

アイコクアルファの経営理念の礎(いしずえ)を創り上げた3代目社長故樋田成二を記念して建設した施設です。1階には、アイコクアルファをご紹介します各種展示等がございます。また授乳室や、車いす・ベビーカー等をご利用の方向けにバリアフリートイレ、エレベーターもございます。2階は、休憩スペースとなっておりますので、どうぞごゆっくりとおくつろぎください。



# デッキテラス



メモリアルホール2階の休憩スペースと連続した構造になっており、デッキからの出入りが可能です。広い軒下屋根がありますので、強い日差しや雨を防ぎつつ、オープンエアの開放感を楽しむことができます。

- |                 |              |        |
|-----------------|--------------|--------|
| ●A パーゴラテラス      | ●B 足洗い場      | ●C トイレ |
| ●D メモリアルホール正面玄関 | ●E オープンテラス   | ●F 正門  |
| ●G ロングベンチ       | ●H 駐輪場       | ●I 出入口 |
| ●J 駐車場          | ●K 周回路(サークル) | ●L 自販機 |

## 資料 1-2

# 芝生広場



周回路(サークル)内は、昔の「原っぱ」を模した芝生だけの広場とすることで、「いいの広場」のイメージを具現化しました。遊具等はありませんが、駆けまわったり、寝そべったりと、ぜひ、五感で自由にお楽しみいただければと思います。

令和2年度  
緑の街並み推進事業 事業区域

# アカシヤの丘

アイコクアルファの歌である「アカシヤ会の歌」のモチーフにもなっている「アカシヤの木」にちなみ、「ホンアカシヤ」をこの広場のシンボルツリーとして記念植樹いたしました。



# 祖父江ホテルの水辺 (ヘイケボタルビオトープ)

かつて祖父江にたくさん生息していたヘイケボタルを復活させるため、NPO法人「祖父江のホテルを守る会」や、日本を代表するホテル専門家である故大場信義先生をはじめとする多くの方のご協力をいただき、工場だったこの場所に、ホテルを定着させることを“夢”見て、整備いたしました。(ホテル観察会など特定の日以外はフェンス内への立ち入りはできません。)

# ふるさとの せせらぎ



小川を模したせせらぎの一部には、解体工事で発掘された旧工場の基礎石(割栗石)を敷いております。



# ガビオン フェンス

ガビオンとは「蛇籠(じゃかご)」のことで、昔から一般的に治水構造物等として使われてきました。フェンスとして活用するにあたり、内部には鋼材支柱を配し、耐久性・耐震性も考慮しております。この中の石は、解体工事で発掘された旧工場の基礎石(割栗石)を流用しています。